

ことうら議会だより

2025年5月1日発行 第84号



初夏への期待

春の陽気の訪れとともに本町の特産品でもある
ブロッコリーの植え付け作業が始まりました。
6月の収穫が期待されます。



トピックス

- ・臨時会、定例会…… P 2～5
- ・特集…… P 6～7
令和7年度当初予算
- ・委員会報告…… P 8～11
- ・一般質問…… P 12～23



当初予算案(一般会計)

令和7年度1月臨時会(1月24日)は補正予算(総額2億3,756万円)3月定例会は3月3日から3月19日までの17日間開催された。
本会議では条例16件、令和6年度補正予算5件(補正総額2億1,068万円)、議員提出議案8件を可決。
一般会計(当初)予算は、予算・決算審査特別委員会で否決されたが、

3月定例会

議案第19号 令和6年度琴浦町一般会計補正予算(第10号)

○旧以西小学校の改修	1億145万円	○光ケーブル情報通信基盤施設の改修	5,280万円
○給食センター設備更新	8,649万円	○斎場火葬炉設備の修繕工事	1,595万円

議案第24号：令和7年度琴浦町一般会計予算

賛成多数で原案可決

討 論

賛 成

前田 議員

いろんな要素がある予算なので総合的な判断をすることが我々に課せられた大きな責務である。仮に否決となれば、今後予定されている交付金事業等に大きな影響が出てくることになる。

小椋正 議員

全体的に安全安心のまちづくり予算となっていると思う。指摘を受けている少数事業においてよく検討されて、今後取り組まれることを指摘する。

田中 議員

指摘した点について町執行部より検討する旨の説明があった。災害時には東伯総合公園が住民の皆さんにとって安心して過ごせる避難場所として機能するものと判断した。

澤田 議員

町民にとって大変大事な予算である。予算・決算審査特別委員会で様々に議論がなされた。こうした議論を踏まえて効率の良い執行をお願いする。

押本 議員

消極的に賛成。

予算には賛成であるが、状況が変わったということから、議会をはじめ町民のみなさまに見直しが必要だということを訴える。

反 対

桑本始 議員

農水省の資金の必要性について、施策として予算化されていないのが現状である。その流れこそ町の農業に未来があるのか、苦言を呈する。

桑本賢 議員

人口芝にすればプラスチックごみが出るのではないか。十分対策はとられているか。そういう町民の多くの声があることを踏まえて人工芝は反対する。

井木 議員

漁業の大問題で、店の方には予算付けはあるが、漁業者に対して予算的に少なかった。

谷田 議員

防災行政情報提供システムの導入に関して懸念が拭えない。音声を使った今までの部落放送がなくなる等、どういう方向でこのシステムを活用していくのかという話し合いを十分に行われるべきだと感じる。

賛 成

10

反 対

4

一転可決へ!!

1月
臨時会

3月
定例会

と町政施策に関する決議を可決。

万円)、令和7年度予算16件(総額205億8,994万円)などを可決。

本会議の採決では、活発な討論の末、可決された。

議案第45号：債権の放棄（琴浦町住宅新築資金等貸付金）について

賛成多数で原案可決

討 論

反 対

押本 議員

回収の見込めない債権について、放棄を考え直していただきたい。

賛 成

10

反 対

4

議案第50号：琴浦町公民館条例の一部改正について

賛成多数で原案可決

討 論

賛 成

押本 議員

走り出しているこの今の仕組みについて、公民館条例の問題はただし書きのことであり、ただし書きということだけの文言であれば問題ない。

小椋正 議員

条例違反があるということだが、ただし書きでやっていけば問題ない。各地区の公民館が積極的に活動していただくことを望んでいる。

反 対

田中 議員

現在、町公民館条例に規定している公民館運営協議会が設置されていないのは、条例違反ではないかとずっと指摘してきた。条例違反状態にある公民館条例の改正には断固反対。

賛 成

8

反 対

6

議員提出議案第7号：最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について

賛成多数で原案可決

討 論

賛 成

桑本賢 議員

現実はかなり困難であるが、最低賃金をもう少し上げないと安い賃金体系では厳しいと思う。

反 対

小椋正 議員

最低賃金1,500円の実現とは現在の地方での最低賃金1,000円以下の現状ではあまりにも乖離している。



議員提出議案第9号：操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書の提出について

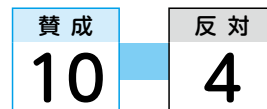
賛成多数で原案可決

討 論

反 対

小椋正 議員

飲酒運転行為が許される環境にないことは明白であり、事業所内で厳重に対処すべき事案である。



1月臨時会（1月24日）

議案第1号 令和6年度琴浦町一般会計補正予算（第9号）

- 国の補正予算を活用した物価高騰対策事業、中学校の空調設備更新などの予算を可決。（第4弾商品券配布等）
補正額 2億3,756万円

議員提出議案第1号 町政施策に関する決議

- 議会として、町政に対する要望書を提出する決議を全会一致で可決した。

町政施策に関する決議

1. 公共施設の維持管理について
2. 防災拠点施設の維持更新について
3. 小中学校体育館等への空調設備整備について
4. 農林水産業の振興について
5. 少子化対策の取り組みについて

請願・陳情

番号	件 名	提 出 者	付託 委員会	委員会 の意見	本会議 採決結果
7年 陳情 第1号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	総務産業	採択	採択
7年 陳情 第2号	ガソリン税の暫定税率の可及的速やかな廃止など、ガソリン高対策の実施を求める意見書の提出について（陳情）	倉吉市 足羽 佑太	総務産業	採択	採択
7年 陳情 第3号	操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書について（陳情）	倉吉市 足羽 佑太	総務産業	採択	採択

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議 案 等		審議結果		金 光 敦	小 椋 憲 浩	谷 田 順 子	田 中 肇	川 本 善 孝	山 本 秀 正	押 本 昌 幸	澤 田 豊 秋	桑 本 賢 治	小 椋 正 和	手 嶋 正 巳	前 田 智 章	桑 本 始	井 木 裕	大 平 高 志
		賛 成	反 対															
定 例 会	7年陳情第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	採択	9	5	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	議
	7年陳情第3号 操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書について（陳情）	採択	11	3	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	議
	議案第24号 令和7年度琴浦町一般会計予算	可決	10	4	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	議
	議案第45号 債権の放棄（琴浦町住宅新築資金等貸付金）について	可決	10	4	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	議
	議案第50号 琴浦町公民館条例の一部改正について	可決	8	6	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議
	議員提出議案第7号 最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	可決	11	3	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	議
	議員提出議案第9号 操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書の提出について	可決	10	4	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願は全会一致で採択または不採択となった。

○=賛成・採択 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥

表 彰

中部町村議会議長会表彰

今年度3名の議員が、町村議会議員として、10年以上在職し功労があったとして表彰を受けました。

表彰された議員 大平 高志 議員、桑本 賢治 議員、澤田 豊秋 議員

特集

「福本町政4年目

一般会計当初予算131億

いよいよワイナリー、

琴浦町議会は3月定例議会において、令和7年度一般会計予算を可決した。
過去最大となる131億6400万円の一般会計当初予算を、予算・決算審査

1 人を大切に

▶こども園における紙おむつ定額制サービスの負担軽減 ▶69万円(拡充)

紙おむつ定額制サービスの一部を町が負担することにより、サービスの利用を促進し、保護者の負担軽減と保育現場の業務負担の軽減を図る。

▶中学生国際交流事業 ▶244万円

台湾の中学校の相互交流により、異なる異文化に触れることで国際理解を深める。

▶フレイル早期検知事業 ▶216万円(新規)

AIと電力データを用いてフレイルリスクの高い者を早期発見し、介護予防サービス等へつなげる。健康寿命の延伸に向けて高齢者の疾病予防、重症化予防と介護予防とを一体的にした取り組みを行う。

▶地域防災力向上事業 ▶150万円(拡充)

自主防災組織への防災資機材整備や地域での避難体制の整備、防災リーダー育成により、災害に対する備えなど防災意識や地域防災力の向上を図る。

2 地域の輪を広げる

▶琴浦町ふるさとまちづくり団体応援交付金 ▶200万円(新規)

地域活性化など自主的な取り組みを行う団体の活動を支援し、多様な主体によるまちづくりを推進する。

▶日韓友好資料館サイクルステーション拠点整備事業 ▶4374万円(新規)

サイクルを活用して地域経済の活性化を図り、町内に観光を通じた新たな産業と雇用を創出する。

▶文字表示システムの導入 ▶452万円(新規)

外国人や耳の聞こえづらい人へ配慮した文字表示システムを導入する。

年々ふくらむ予算」

6400万円 (対前年度6億3800万円増)

人工芝サッカー場着工へ

特別委員会（3月10～12日）で3日にわたり、これを審査した。

3 輝く産業、経済の強化

▶スマート農業推進事業 ▶1897万円

AIなどの農業新技術を導入し、新規就農者や研修生等の技術習得支援に活用することで、新規就農者等の技術習得支援及び町内生産者の栽培管理技術向上を図る。

▶畜産経営第三者継承事業 ▶328万円 (新規)

第三者継承に取り組む新規就農者の就農時及び就農から5年以内に必要な機械、施設整備及びリース料を助成する。

▶未来人材奨学金返還支援補助金 ▶98万円

地元企業の雇用確保やU/Iターンを促進するため、学生等が返済する奨学金に対し支援を行う。

▶ワイナリー整備支援による地域活性化事業 ▶2億7854万円 (新規)

ふるさと融資制度等を活用し、ワイナリー整備事業の支援をすることで地域活性化を図る。

4 壊さない環境、活かす施設

▶防災行政情報提供システム導入 ▶3億2658万円 (新規)

防災行政無線設備にかわり「携帯電話網を活用した防災行政情報提供システム」の導入を進める。

▶東伯総合公園整備事業 (上下水道整備) ▶1029万円 (新規)

都市計画長寿命化計画に基づき、耐用年数が経過し、不具合が生じている既設給水施設・給排水管の更新を行う。

▶東伯総合公園サッカー場整備事業 ▶3億5781万円 (継続費)

東伯総合公園サッカー場を人工芝に改修することにより、町民の年間を通じたスポーツレクリエーション活動の場を確保する。



委員会

予算・決算審査特別委員会

委員長 押本 昌幸

議案第24号「令和7年度琴浦町一般会計予算」から議案第39号「令和7年度琴浦町下水道事に基づき関係各課からの聞き取りを行い審査した。

その結果、一般会計予算については否決し、議案第25号から議案第39号までの各会計予算はなお、一般会計予算については本会議で可決した。

一般会計予算についての質疑

Q ふるさと納税返礼品の経費について、事務費も含め、何パーセントくらい経費がかかるのか、また、想定されているのか。

A 目標は4億円としている。国の基準で5割くらいに収めなければならない。琴浦町ではほぼ49%程度まで経費がかかるのでそれ以上かからないようにというのが大前提。

Q 東伯総合公園多目的広場のバックネットを撤去するが今後は設置されないか。

A 設置に1,200万円かかるので今のところ設置の予定はない。

Q 東伯総合公園の整備事業について、東伯総合公園は避難所としての機能がある。ライフラインが切断されたときには上下水道は役に立たない場合があるが、井戸の活用についてはどのように考えているのか。

A 井戸のポンプも改修が必要になる。テニスコートの漏水等対応がなかなかできないなど過去にあった。井戸を使うならもう一回引き直さないといけないので、そこも含めてコンサルにかけて判断したい。

Q 琴浦斎場で携帯電話のアンテナを立ててほしいという要望があったが、Wi-Fiの設置をしては。

A 琴浦斎場で一部のキャリアの方は電波が通じる。メーカーの関係のホームターミナルを設置すればWi-Fiが可能なので今後導入に向けて考えていきたい。

Q 防災行政情報提供システムに使う操作アプリの具体的な操作方法是。

A 行政情報を取得するにはアプリを導入する必要があるが、行政情報を必要としない町民もあり、アプリの導入は個人の自由意思。

(文責：副委員長 金光敦)

の 報 告



業会計予算」までの計16議案の付託を受け、3月10～12日の3日間、町提出の「事業説明書」全会一致で可決した。

主な賛成討論

総合的に判断して

積極予算で、配慮もしてある予算なので賛成。

細かく見れば納得できない部分もあるが、町民のためになるかを総合的に考えるのが議員の責任。修正動議をかけて予算を通すことはあったが、反対理由がそれぞれ違う。

東伯総合公園サッカー場改修工事について

サッカー場の改修は議会で議決しているのでその予算を反対できるものではない。

主な反対討論

兼業農家の支援について

町の農業を心配するなか、一般質問でも専業就農だけでなく兼業就農への支援を提案してきたが、本予算には兼業就農への支援が全く盛り込まれていない。

携帯電話網を活用した防災行政情報提供システムの導入について

情報機器等を持たない住民へ伝達できること、町が伝えるべき防災情報を制約なく伝達できるもの、この2つの要件が満たされていないと思う。もう少し丁寧に協議し、住民への説明がもっと必要ではないかと考える。

東伯総合公園の整備事業の上下水道整備事業について

総合体育館は避難施設であるため、避難所施設を作る考えに基づいた上下水道の整備をすべき。自己完結できるよう井戸で水源を確保し、トイレについては浄化槽を整備するという考え方で改めた計画を作っていたきたい。

東伯総合公園サッカー場改修工事について

継続費であることはわかっているが、助成金があるというものの、現時点で工事費が約5億2,000万と示され、特定スポーツ施設であるサッカー場の改修にここまでお金をかけることに、町民の理解を得られるか懸念する。また、環境面等で問題が残る人工芝を天然芝に変えればもう少し安く安全にできるのではないかと考える。



委員会

教育民生常任委員会

委員長 井木 裕

3月13日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受けた。
また「ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言」や「琴浦町公民館条例の一部改正」について質疑が集中した。

《報告事項・質疑応答》

ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言

Q 人工芝は長く見積もっても15～20年で耐用年数を迎えるが、現時点で廃棄の方法が焼却か埋設しかない。どういう対応を考えているか。

A 現時点での廃棄対応は焼却か埋設になる。専門家などから人工芝の廃棄の研究も進められていると聞いているので、今後の廃棄技術の進歩も見据えながら対応を考えていきたい。

おむつサブスクについて

Q 買ってきたオムツに対しての補助なら良いが、サブスクでという形でならやめてほしいという意見も出ているが。

A オムツサブスクの利用率は48%。しかし、利用率が上がれば園職員が管理する件数は減ってくるので、サブスクの推進を図っていきたい。

公民館条例の一部改正について

Q 3月4日の質疑のなかで条例違反があるのではないかと指摘があったが。

A 昨年の議会の結果を受けて、全地区に公運協を設置していただくよう人選を求めてきたが、地元の承諾が受けられず公運協が置けない地区があった。しかし、その地区の活動では活発に議論が行われ、社会教育に一体的に取り組んできたという実績があると認識をしている。また、今年度の教育委員会や総合教育会議等でも意見をいただきながら議論をしてきた。条例通り進めるうえで結果は伴わなかったが、必要な対応はしてきているので条例違反とまでは言えないと考えている。

委員長の感想

議案第16号「琴浦町公民館条例の一部改正」については、委員会で様々な指摘があった。最終日に執行部に議案を撤回し修正案を再度上程させることにつながった。

より良い町政が行われるよう、議会のチェック機能をしっかりと果たして参りたいと思います。

の 報 告



総務産業常任委員会

委員長 小椋 憲浩

3月14日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受け審議を行った。

委員会に付託された7年陳情第1号「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書を審査し採択。7年陳情第2号「ガソリン税の暫定税率の可及的速やかな廃止など、ガソリン高対策の実施を求める意見書の提出について」（陳情）を審査し採択。7年陳情第3号「操縦士の飲酒運転の防止委など航空安全のための対策を求める意見書について」（陳情）を審査し採択とした。委員会終了後は県外から琴浦町へ移住し就農されている6名との意見交換会を行った。

《報告事項・質疑応答》

まちづくり

- Q** 町の公民館条例に公民館運営協議会を置くとなっていることをしっかりと伝えたのか。
- A** 昨年の条例改正以降、地域運営組織でその役割を担っていく方向性として整理してきた。
- Q** 導入が計画されている防災システムは、スマホを持たない人にも緊急防災情報は目や耳などで確認できるのか。
- A** 文字伝達など便利になる部分もあり、これまでどおり屋外拡声器などで畑仕事中でも伝わる様になっている。

事業関係

- Q** ワイナリー整備に関わる融資の町負担は。
- A** 利子負担と保証料の補助。
- Q** コロナ以降のゼロゼロ融資の償還が迫っているが苦しい企業がありはしないか。
- A** 倒産された業者もあるが、融資に関わる相談を商工会と銀行とで連携してすすめていく。
- Q** 将来水道事業費が10年間で28億円となっていて、起債償還曲線が緩やかな減少の要因は。
- A** 終了する償還もあり8年度をピークに減少傾向となる。

委員長の感想

3月の総務産業常任委員会では、県外から琴浦町へ移住し就農されている方との意見交換会を行い、琴浦町を選ばれた理由や現在の満足度、そして町への要望や提案など活発な意見交換会が開催できました。無風快晴の農業日和ではありましたが頂いた多くの声を受け止め、明日も来年も農業に打ち込みたい環境づくりを目指して頑張りたいと思います。



ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

	質問議員	質問事項	掲載ページ
3月5日	通告1番 おぐら のりひろ 小 原 憲浩	1. 町長の姿勢について 2. 生ごみ堆肥の取り組みについて 3. 自転車における安全運転確保と自転車向け保険について	13
	通告2番 たなか はじめ 田 中 肇	1. 町道、県道、国道の交通安全点検について 2. 琴浦版ライドシェアの導入について	14
	通告3番 さわだ とよあき 澤 田 豊秋	1. 人権尊重の社会づくり	15
	通告4番 やまもと ひでまさ 山 本 秀正	1. 安心・安全に暮らせるまちづくりについて 2. 子育て世代の支援充実のまちづくりについて	16
	通告5番 たにだ じゅんこ 谷 田 順子	1. ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言の推進に対する考えは 2. 生ごみの堆肥化を今後どのように推進していくのか	17
3月6日	通告6番 かわもと よしたか 川 本 善孝	1. 少子化対策としての高校生への支援策について 2. 水道の長期不使用にもかかわらず基本料金を徴収している ケースの対応について	18
	通告7番 かねみつ あつし 金 光 敦	1. 情報リテラシーについて 2. 特殊詐欺防止の取り組みについて	19
	通告8番 てしま まさみ 手 嶋 正巳	1. 町長の政治姿勢について 2. ジビエの振興について	20
	通告9番 おしもと まさゆき 押 本 昌幸	1. 今秋公開のNHK朝ドラ「ばけげん」への町の対応について 2. 30年以上、日本芝畑の真ん中に西洋芝のティフトン敷設の赤 碕野球場があることを紹介しなかったのは（人工芝を選択さ せるための）「ミスリード」になるのではないか	21
	通告10番 おぐら まさかず 小 原 正和	1. 町長選の公約について 2. 集落営農組織なり農業法人組織について 3. 琴浦町誌編さんについて	22
	通告11番 くわもと はじめ 桑 本 始	1. 新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用する事業に係る 地域再生計画について 2. 無痛分娩費用の助成について	23

※青字は、本誌では省略



事項一覧



通告書



- 1 生ごみ堆肥の取り組み成果と今後は
- 2 自転車保険（対人・対物）の公費での支出は



- 1 堆肥としての成果は少ないが、分別する意識が高まった
 - 2 公費での支出として今は考えていない
- 福本町長



小椋 憲浩 議員

質疑応答時間（ 20回 (質問) 21分 + (答弁) 31分 ） 52分 (トータル)

町政の姿勢について



「選挙時期の見直し」についての考えは



以前より町のホームページに「選挙時期の見直し」を掲げてきた。町民より変えた方がよいではないかという意見は聞いていたが、本当に変えようと思うと、かなりのリスクを伴うし、議員からも変更への声も上がってきていない。対応するとなるとかなりのハードルを越えなければならないので、決断には至ってないが今のところ選挙時期の変更については考えていない。

福本町長

自転車における安全運転確保と、対人対物への補償の備えは



今までの自転車の安全運転指導は、被害者にならないための指導が主に行われて来たのではないかと。現在の指導方針は。



鳥取県は平成28年に鳥取県支え愛交通安全条例を制定し自転車の保険加入も努力義務とされている。学校での交通安全の啓発をふだんから行い、交通ルールの徹底など心掛けている。また町民への啓発も行っていきたい。

福本町長



年度初めと夏休み前に警察や安全担当教員による全体および生徒会活動などで安全運転指導は行っている。

河原教育長



生ごみ集荷の実証実験と生ごみを活用した堆肥の成果と今後は



生ごみの集荷は町のゼロカーボン宣言に基づき取り組み、ごみの分別、CO₂の削減、資源としてどう扱うかを実験した。協力頂いた町民の皆様には分別するという意識が出来たと思う。令和5年度には堆肥30tに対し生ごみ1.9t投入し、結果的に20tの生ごみ堆肥が完成し芝圃場に使用させて頂いた。堆肥の効果としては比較するほど大きな差はなかったところだ。今後の構想としては堆肥化だけでなく様々な用途を考えており、下水の汚泥にしろ資源化できるものは極力自然に回そうという考えで進んでいる。

福本町長



自転車加害者となった対人事故で高額な補償金が判例として出ているが、その備えとして保険の必要性和公費での支出の考えは



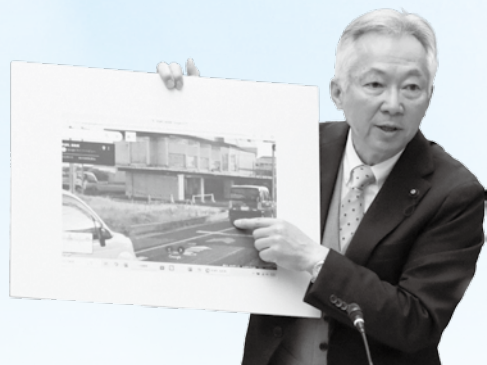
自転車を車両としての意識がまだ薄いと感じており啓発には力を入れたい。子供たちのための保険という部分はあるが、今は公費としての支出は考えていない。

福本町長



学校の安全配慮義務違反の場合は学校の責任が問われる場合もあるが、登下校の事故の責任は基本的に保護者とされており、保険への加入は任意ではあるがために、できるだけ紹介をして加入頂くように努めているところ。

河原教育長



田中 肇 議員



- 1 国道9号線「浦安駅入り口交差点」の危険性
- 2 琴浦版ライドシェアの導入について



- 1 早めに協議して、対応したい
- 2 地域交通の中で声が上げれば協議していきたい
福本町長

質疑応答時間 (9回 (質問) 23分 + (答弁) 20分) (トータル) 43分

交通安全点検について

問 町道、県道、国道の交通安全点検は

町内の道路、特に交差点はどのような方法で安全確保を行っているか伺う。

答 特段、点検日は設けていない

福本町長

特段、点検日は設けていない。

部落要望等で把握し順次整備している。

答 交通安全プログラムにより点検

河原教育長

教育委員会では通学路交通安全プログラムに基づき、毎年度点検を行い、児童・生徒の交通安全を図っている。

問 国道9号線「浦安駅入り口交差点」の危険性について

20～30メートルにわたり、歩道と車道を区別する縁石などが無い。

このため、横断歩道で信号待ちしている人(児童・生徒)が車に巻き込まれる状況になっており、非常に危険だが。

答 早めに協議して、対応したい

福本町長



車が進入してくる歩道

琴浦版ライドシェアの導入について

問 金、土曜日のタクシー運行時間の延長を要望する声があるが

ウイズコロナからアフターコロナへ転換し、人の流れや景気が回復基調にある。

町内においてもその効果が期待される中、金曜日・土曜日のタクシー運行時間の延長を要望する声があるが。

答 町民の声は伺っている

福本町長

問 ライドシェアを導入しては

ドライバー不足の中、本町でもタクシー事業の拡大・運行時間の延長は困難であると思う。

このため、米子市のような、タクシー事業者の管理下で一般ドライバーが自家用車で客を運ぶライドシェアを導入してはどうか。

答 事業者の了解が得られない

福本町長

タクシー事業者を確認しているが、採算面から事業者の了解が得られない。

問 琴浦版のライドシェアを導入しては

町が主体となり、事業者や関係機関との検討委員会を設け、民間と行政が取り組む公共ライドシェアを検討しては。

答 地域交通の中で声が上げれば、協議して行きたい。

福本町長



- 1 命と尊厳を大切にしまちづくりの推進を
- 2 研修体制の充実に向けた現状と課題



- 1 人権が尊重されたまちづくりに取り組む 福本町長
命と尊厳を大切にすることは一番の柱 河原教育長
- 2 参加者が少ない、人・同推協の分野を広げる 福本町長

質疑応答時間 (11回 (質問) 30分 + (答弁) 27分) 57分



澤田 豊秋 議員

人権尊重の社会づくり

問 命と尊厳を大切にしまちづくりの推進を

人権意識の欠如からくる事件等が度々報道されており、今こそ我が町の足元を見つめ直し、命と尊厳を大切にしまちづくりをより一層推進すべきではないか。

答 人権が尊重されるまちづくりに取り組む 福本町長

命と尊厳はすべての人が持つ生きる権利であり、様々な人権問題の解消は、行政の責務であり全ての人の人権が尊重されるまちづくりに取り組んでいきたいと考えている。

答 命と尊厳を大切にすることは一番の柱 河原教育長

命と尊厳を大切にすることは一番の柱であり、学校、町の人権・同和推進協議会、両文化センターを含めた役場職員等の研修の充実を図り、実現できるよう取り組む。

問 研修体制の充実に向けた現状と課題は

今日的な状況を踏まえ、研修体制の充実に向けて行政職員は勿論、企業、町民の人権意識の向上を図る必要があるが、現状と今後の課題は。

答 参加者が少ない、人・同推協の分野を広げる 福本町長

町民誰もが人権意識、人権感覚を身に着けること

であるが、現状として参加者が少ない。人権同和推進協議会の分野を広げて研修を行っている。

問 今年と同対審答申から60年

今年と同対審答申から60年、この答申の精神を踏まえて、町の責務、町民の役割をしっかりと考え、推進協議会の各分野の裾野の広がりを検証するなど、更なる整備充実が必要ではないか。

答 毎年度工夫しながら取組みの積み重ねが重要 河原教育長

毎年度工夫しながら取組みの積み重ねが重要であり、校長会で、人権同和教育課の職員、東伯・赤碕文化センターの職員と意見交換を行い、学校での人権学習の現状や課題を共有している。

問 条例の見直しを

昨年、「全国部落調査」復刻版出版裁判の最高裁判決が出され、東京高裁の判決が確定し、差別されない権利が認められた。理念法で禁止法がないところに問題があり、条例の見直しを検討されないか。

答 対策の中で検討 福本町長

緊急性の高いものは対策の中で検討していく。



山本 秀正 議員



町道「八橋以西線」において^{きょうあい}狭隘道路解消に向けての改善は



社会資本総合整備計画に載せて必ず実施に向けて行いたい 福本町長

質疑応答時間 (13回 (質問) 21分 + (答弁) 19分) (トータル) 40分

安心・安全に暮らせるまちづくり

問 町道「八橋以西線」においての改善は

以前、安心・安全に暮らせるまちづくりのため、交通安全上また防災上の観点から、狭隘道路を計画的にかつ早急に解消する必要があるのではという質問をさせていただき、町長からは前向きな答弁をいただいていた。その後、町道「八橋以西線」において、狭隘道路解消に向けて、どのように改善されたか。

答 社会資本総合整備計画に載せた

町道「八橋以西線」は、狭隘道路と認識はしている。改善については、本路線を令和4年度に社会資本総合整備計画に載せている。ただ、載せているが、令和11年度までの事業計画で申請を出している。

問 優先的にできる方法はないか

町道「八橋以西線」は、通学路にもなっているし、長い延長でかなり危険が伴うということであり、令和11年度までより、もっと早く、優先的にできる方法について考えはないか。

答 必ずや実施に向けて行いたい

計画の中に上げているが、いつ実施するということは言えないが、必ずや実施に向けて行いたいと思っている。

問 狭隘道路の安全確保のための改善は

生活道路として、毎日利用している道路で、狭隘道路は町内にどれくらいあるか。安全確保のため、改善が図られているか。

答 39路線で道路の拡幅を行った

幅員が4メートル未満の道路が、全体の町道の延長に占める割合が9%で、平成22年度から令和6年度にかけて39路線、総延長7,830メートルについて道路の拡幅を行った。

子育て世代支援充実のまちづくり

問 消滅可能性自治体から脱却できるような取り組みが必要では

宝島社発行の月刊誌「田舎暮らしの本」に掲載されている、「住みたい田舎ベストランキング」の中で、「子育て世代が住みたいまち」部門で、去年は1位であったが、今年は上位ランク外となった。再度、上位にランクインするために、今年上位の市町の状況を参考にして、人口が増えて、消滅可能性自治体から脱却できるような取り組みが必要だと思うがどうか。

答 今後の政策の中で活かせるものは活かしていきたい

給食費を無償化しているところは、かなりいいところにランクインされていると思う。上位にランクインしている市町の取り組みについて、今後の政策の中で活かせるものは活かしていきたいと思っている。



**ことうらゼロカーボンチャレンジ
宣言をどう推進していくのか**



**地球温暖化対策実施計画に基づき
進める**

福本町長



谷田 順子 議員

質疑応答時間 (22回 (質問) 30分 + (答弁) 46分) 76分 (トータル)

ことうらゼロカーボンチャレンジ の取り組み

問 カarbonニュートラルを達成する ために町民は何ができるのか

カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量と、それを吸収する量を均衡させて実質ゼロにするという考え方だが、それを達成するためには国や町・企業だけでなく、町民一人ひとりが自分のこととして2050年に向けて何ができるのかを考えるのが大前提だと考えるがどうか。

答 地球温暖化対策実行計画に基づき 進めていく

すでに、各家庭・町で進めており、できることからになる。課題は、国が示しているようなところには達成できないが、町なりのものは詰めていきたい。第一に手掛けたいのはごみの焼却を減らすことで、中部ふるさと広域連合の計画と合わせ推進していく。

問 太陽光パネルの廃棄問題に対する 考えは

2040年には太陽光パネルの大量廃棄問題が出てくるといふ問題提起もある。

太陽光パネル設置に当たっては、メリットだけでなく有害物質が含まれていることや廃棄処分を行う際の費用負担などについても十分な説明が必要だと考えるがどうか。

答 廃棄処分についてはまだ把握して いない

パネルの処分についてはまだ把握していないが、処分時は分別をして廃棄になると思う。

生ごみ堆肥化の推進

問 生ごみの堆肥化を今後どのように 推進していく考えか

生ごみの堆肥化は、その堆肥を土壌に入れることで温室効果ガスを下げる働きがあり、農業分野・環境分野が一緒になって取り組んでいる。

生ごみの堆肥化を実現に向けて考えていかないといけないと思うが。

答 地球温暖化対策実行計画の中で やっていきたい

生ごみの堆肥化は実現に向けて考えていかないといけないと思うが、生ごみを出す側の問題や、堆肥センター・収集業者の負担など今後検討していく。



ドリルで生ごみと畜産糞尿をまぜる



川本 善孝 議員



人口戦略会議の『消滅自治体レポート』をどのように受け止めているか



10年前の「消滅自治体」から脱したところ。地方創生の中で考えていかなければならない 福本町長

質疑応答時間 (10回 (質問) 23分 + (答弁) 21分) (トータル) 44分

消滅自治体レポート



本町は外国人労働者が増えたおかげで、消滅自治体を免れたのではないか

2024年「人口戦略会議」は、20歳～39歳の女性が、2020年から2050年に、50%以上減少すると推計される自治体を“消滅可能性自治体”としてリストを公表した。本町は外国人291人、人口比1.8%で、県内2番目の高さであり、その結果△46.6%で、辛うじて免れたのではないか。

若年女性減少率移動想定 2020→2050

鳥取県	前回比較	(%)
若桜町	↗	-77.4
日南町	↘	-68.9
江府町	↘	-66.2
日野町	↘	-64.6
智頭町	↗	-60.9
八頭町	↗	-56.7
岩美町	↗	-55.5
大山町	↗	-50.4
琴浦町	↑	-46.6
三朝町	↑	-46.2
南部町	↑	-45.7
北栄町	↑	-44.7



社会減をクリアする必要がある自治体にランクされている 福本町長

小さな県なので、社会減は県全体で考えていかなければならない課題。分析しながら対応していかなければならない。

高校生への進学奨励金給付事業



令和6年度から高校生への進学奨励金給付事業を中止した理由は

令和4年度は高校生76名に月額5,000円、453

万円。令和5年度は82名で484万円給付。

岡山県奈義町は高校生に現在でも月額2万円支給している実態があるが。



令和5年度末、児童手当、特別医療費助費助成金が高校生まで拡充されたため 河原教育長

その他支援制度も改善されてきているため、本制度を廃止させていただいた。



子育てにトータルで力をいれたい

福本町長

子どもの環境整備だけでなく、親の働く環境、住まいの環境とか、トータルで考えないといけないと思っている。

長期水道不使用の料金徴収問題



1年以上水道不使用なのに、基本料金徴収戸数が141件もあるが

水道使用状況

141件

1年以前、使用水量がたまにあるもの	55件
1年以前、継続して使用水量があるもの	55件
1年以前10年間ほぼ使用水量なし	31件



長期不在にもいろいろある 福本町長

閉栓されませんかと投げかけているが、個人の考えなので、深く立入れない。



10年間水量なしが31件あるが

75歳以上の単身世帯が533世帯あり、施設入所などで「閉栓手続」ができていないのではないかな。



町外の人が管理している場合がほとんど 福本町長

担当課でそこまで調べるのは大変難しい。



情報リテラシーの必要性は



情報を自分の目的に適合するように
使用できる能力が必要

福本町長



金光 敦 議員

質疑応答時間 (6回 (質問) 21分 + (答弁) 18分) 39分 (トータル)

情報リテラシー



インターネットやメディアが発達した現代社会では、膨大な情報から信頼できるものを見極め、正しく活用する能力である情報リテラシーが必要だが。



情報を自分の目的に適合するように
使用できる能力

福本町長

吸い寄せられるように集まってくる情報を、正しいものかどうか見極めたり、分析したりすることが求められる。



情報リテラシーが低いことで起こり得る問題は。



インターネット上で当たり前のようにアップした情報で、意図しないにもかかわらず被害者や加害者になる可能性がある。

福本町長



発信者の意図があって情報が流されるなかで、現代のインターネット上のサービスの多くは使用者の好みに合わせた情報が入ってきやすい仕様になっており、情報収集が偏ったものになりやすいという懸念があるがどう思われるか。



自分が得ている情報だけが正しいと思わず、いろいろな異なる意見を得ることが大切だと思う。

福本町長



情報リテラシーを高めるための町内教育現場での取り組みは。



町配布のタブレット端末の使用に当たっては、活用のルールを定めている。保護者の方にも活用ルールを確認していただき、同意書をいただいたうえで、年度当初と長期休業前に全校児童生徒に対して情報モラルに関する指導をしている。授業においても情報モラルを土台として、発達段階に応じ、情報を適切かつ主体的、積極的に活用できるよう、情報リテラシーが高まる学習を進めている。

また、SNS等による子ども間のトラブルが本町でも起こっているため、校長会で情報モラルの向上に向けた支持や、教育委員会として保護者宛ての啓発チラシを作成・配布も行っている。

河原教育長

特殊詐欺防止の取り組み



近年、特殊詐欺の手口は巧妙になってきているが、町内の特殊詐欺防止の取り組みについて伺う。



昨年は防災行政無線で6回注意喚起

福本町長

特殊詐欺防止の注意喚起は、ホームページ等に掲載したり、税務課から出す封筒の表面にも文言を入れるようにしている。また、防災行政無線でも昨年は6回ほど流して注意喚起している。



手嶋 正巳 議員



町長の政治姿勢について



課題解決が図れたものから事業化を行い、課題解決が難しい問題については、代替え策による事業化など引き続き検討している。
福本町長

質疑応答時間 (22回 (質問) 20分 + (答弁) 40分) (トータル) 60分

6 項目の課題解決 (抜粋)



道の駅「琴の浦」リニューアルの行方は。

- ・10年しか経過していないのになぜリニューアルなのか。
- ・指定管理は分かるが実績報告はどうなっているのか。



私の時にかじを取ったわけではない。
収益が200万円を超える場合、10%の利益還元納付金をいただいている。



生涯学習センター「まなびタウンとうはく」改修計画の今後は。



最低限の修繕でいいと考えていたが、まなびタウンも次々と故障が起き今その対応に当たっている。



東伯総合公園サッカー場の改修と総合公園全体の今後は。



サッカー場を含め、総合公園の改修等、今年度からも行っていく。



成美地区公民館とふなのえこども園の移転にかかる土地取得。



着任した時には既に決まっていた。



カウベルホールの最終結論は。



条例で閉じてしまっているものの、ようやく動き出したところ。



熱中小学校の運営は。

- ・自主財源確保の努力が必要と思うが。



7年度から少し形が変わる。継続して協議していく。

重点目標 (4 項目) 抜粋



女性が輝く社会づくり、各事業所での女性管理職の登用は。

- ・庁内で女性の管理職登用はどうなのか。



課長クラスは結構おり、バランス的には琴浦はいいほうだと思っている。



防災に備える体制の強化、支え愛マップの更新、見守り隊～自主防災組織の状況は。



3月時点で加入率61%。



限りある資源を大切にしながら儲かる漁業・養殖業の展開を～現状では2ヶ所、その他展開は。



循環型の新しい仕組みを検討中。

ジビエの振興は



加工処理施設を建設し、ふるさと納税の返礼品に充てるなどPRしては。

- ・捕獲の状況

(イノシシ) R 5年 323頭 (日本シカ) R 5年 65頭
R 6年 381頭 R 6年 41頭

- ・捕獲後の処理

北栄町のイノシシ牧場、大山町のイノシシ工房に半々の状況にある (埋設もある)。



運営面、経済面の課題から検討しても単町での建設は困難である。

問

30年以上日本芝畑の真ん中に西洋芝ティフトンの野球場があることを紹介しなかったのは、人工芝を選択させるための「ミスリード」ではなかったか

答

赤碕の野球場の件は合併以前の話で、東伯の敷地内には西洋芝は植えさせないという約束事があった、赤碕は芝の関係者も少なかったので、そこまでとは思っていなかったという。 福本町長



押本 昌幸 議員

質疑応答時間 (10回 30分 + 31分) 61分

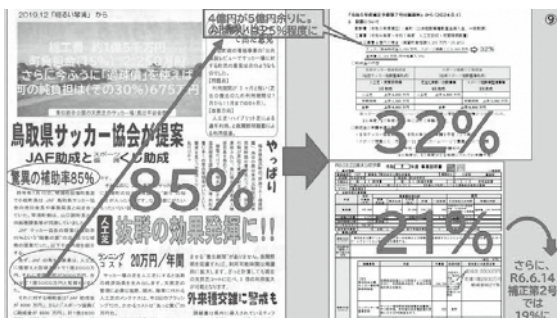
問

①生産者は確かに日本芝しか作らないというルールはやっているが植栽についてはそういうルールはないはずでは。



日本芝畑のど真ん中にあるティフトンの赤碕野球場

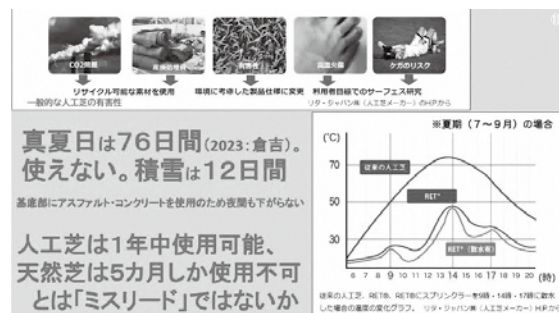
②2019年のA紙には鳥取県サッカー協会からの提案として補助率85%とあったが、最近の町の数字では30%以下に。が、「有利な補助金」という話（を使うの）は変わらないのでは。



85%の補助率が今は30%以下のJAF補助金

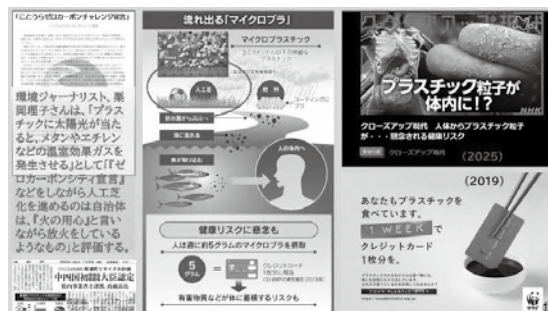
③当初天然芝は一年中使えるというのが、5カ月しか使えなくなった。町が視察した美作市でも養生期間は40日くらいとされている。

人工芝がいいとされたのは雪がたくさん降るから駄目だと。が、逆に、人工芝は夏場60、70℃にもなる。一昨年だと真夏日が76日間あり、使えないのだが。



真夏日は使えない人工芝サッカー場

④町は「ゼロカーボン宣言」をした。ところが人工芝は太陽光に当たれば温室効果ガスを発生する。しかも材料はプラスチック。これは「火の用心」といながら放火をしているようなもの」という評価もある。



ゼロカーボン宣言と矛盾、プラスチック製人工芝

答

①合併前、東伯の方では混植を避けるという申し合わせがあったが、赤碕はそこまで思っていなかった。

②いくら出すというのは額であって何%ではないという考え方の違いだ。

③どこも、練習用は人工芝、本試合は天然芝という使い方をする。

酷暑の時間帯、何（競技）にしても控えている。

④無回答



小椋 正和 議員



集落営農組織なり農業法人組織への支援体制は



立ち上げようとしている地域への支援は細やかにする 福本町長

質疑応答時間 (27回 (質問) 30分 + (答弁) 46分) (トータル) 76分

現在町内の実態はどうか



集落営農なり農業法人は

現在集落営農なり、農業法人を立ち上げている団体は、町内にどれだけあるのか。



15組織が活動

集落営農組織として活動している団体は15組織で、そのうちで法人化している団体は4法人。



町としての支援は

中山間地域においては高齢化が進捗している現況において、農地の維持管理が困難になり、遊休農地の増加する一因にもなっている。地域なり集落単位での集落営農組織、農業法人組織を立ち上げて、地域全体で、集落全員で農地を守っていく取り組みが必要と考えるが、町の支援は。



細やかな支援をしていく

新たに組織を立ち上げようとしている団体があれば、農林水産課の方に相談をしていただきたい。

特に日本型直接支払制度の共同活動や機械の利用組合、それらも含めて組織を立ち上げる場合も支援をしていきたい。

集落営農組織の立ち上げる場合の条件として、集落営農体制強化支援事業、これは県の事業ですが、集落営農の機械施設整備等を支援する。



持続可能な経営体制の転換は

既存の集落営農組織については、高齢化による組織の維持、組織の担い手確保等、持続可能な経営体

制の転換が課題だと言われていたが、今もその所見か。



若い人が入らねば衰退

現状の組織体制からみれば、同じ人がずっと関われば、10年以上になると高齢化してくる、既存の組織があるからではなく、若い人が入って来なければ、衰退していくと危惧している。



地域計画の進捗は

町報ことうら3月号に地域農業の将来をみんなで考える地域計画として掲載されていたが、町民からの問題とかは出ていたのか。また進捗状況は。



今年度中に計画策定

課題に対して共通の認識を持って、いろいろな政策を立ち上げるなり、また国県に要望していく。



組織数を拡大させる支援は

現在組織を立ち上げて経営している団体も、経費の高騰する中において、農地の維持管理に困難を極めている現状がある。今後組織数の拡大を図る上にも支援の強化が求められる。組織を立ち上げればそれだけのメリットがあるという認識になっていただくためにも助成対応が出来る支援は考えられないか。



組織の課題を把握して支援

各集落営農組織の具体的な課題を把握して、支援していく。また単一集落での取り組みが困難な場合は、集落連携や広域化による取り組みも想定して、対応していく。



- 1 新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用した地域再生計画を検討したのか
(1) 国交省の移住・2地域居住
(2) 「半農半X」(兼業就農)
- 2 無痛分娩費用の助成はされないのか



- 1 2地域居住促進法が改正されたが制度設計等不透明な部分が多く今後の動向を注視しながら検討する
- 2 先行事例あり、自治体の状況を確認し考えていきたい
福本町長



桑本 始 議員

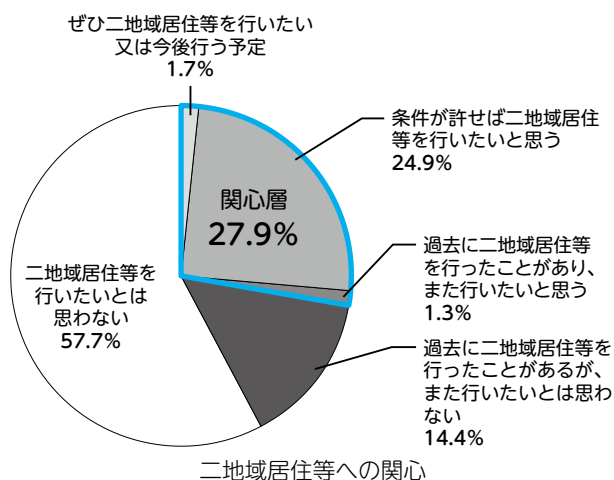
質疑応答時間 (10回 26分 + 19分) 45分

新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用した地域再生計画



(1) 移住・2地域居住を促進し関係人口増へ特定地域を指定

新しい地方経済・生活環境創生交付金(3千億円)を活用する事業に係る地域計画について、国交省の移住・2地域居住を町で検討されたのか。されていない場合は何故されなかったのか。



- (1) 空き家対策総合支援事業を実施している。2地域居住は国や県の制度設計等不透明な部分が多く今後の動向を注視しながら町内の具体的なニーズも把握し検討したい。



(2) 農業の多様な担い手「半農半X」(兼業就農) コース新設

第3期琴浦町地方創生総合戦略に農林水産業の多様な就農希望者の確保・育成及び取り組み支援とあるが、町で「半農半X」(兼業就農)は検討されたのか。されていない場合は何故されなかったのか。

(就農)(天職) 半農半Xという生き方(就農か定住か)

「自営農業」「雇用就農」という形態に加えて新たなUターンとして「半農半X」(いわゆる兼業就農)される方の支援

【島根県独自】半農半Xに取り組む方への支援事業

年齢65歳未満の県外からのUターン者で、農業+その他の仕事(いわゆる兼業農家)を目指す方を支援します。
対 象 者: 町が認定した半農半X実践者
就農前研修: 農業研修生活に要する費用の助成…12万円/月 6ヶ月以上1年以内
定 住 定 着: 就農開始後の営農生活に要する費用の助成…12万円/月 1年以内
ハード支援事業: 施設・機械等の整備費助成…1/3以内(補助金上限額100万円)
◆兼業就農(半農半X支援事業) 就農時65歳未満の半農半X実践者

1年目	2年目	3年目
Uターン 産業体験 (ふるさと定住機構)	就農前研修	定住定着助成
Uターン 産業体験 (ふるさと定住機構)	定住定着助成	

出典: 島根県農林水産部資料



- (2) 先進事例の総括を検証し「半農半X」の公的支援を検討した結果、町では実施しない判断をした。引き続き多様な人材が農業に関わる取り組みについて研究していきたい。

無痛分娩費用の助成を



東京都は子育て支援策として、出産時に麻酔で痛みを和らげる無痛分娩の費用を10月から最大10万円助成する方針を明らかにし、12億円を新年度予算案に盛り込んでいるが、町として助成されないか伺う。

(参照) 群馬県下仁田町(無痛分娩費用助成要綱 H29.3.22告示第50号)既に実施している。



医療機関の状況や、先行実施している自治体の状況を確認し考えていきたい。

町民の声

敬称略

琴浦町の好きなところ

琴浦町に住んでいて私がこの町を特に好きな理由は、なんといってもこの豊かな自然環境です。私は走ることが大好きなので、大山滝や船上山など、素晴らしいトレイルランニングの場所があり、四季折々の美しい風景を楽しみながら走ることができます。また、船上山のトレイルラン

ニングは山道を駆け抜けると、頂上からは琴浦町や周辺の風景が一望できて、日々の忙しさを忘れさせてくれます。琴浦町は海と山が近く、両方の魅力を一度に楽しめる点も大きな魅力です。海と山が作り出す素晴らしい風景は心を落ち着かせ、リラックスできます。

地元の人々の温かさや親しみやすさもこの町を特別に感じさせます。教育面では私の子供達も含めて日本語支援のサポートを熱心に取り組んで、子供達が安心して勉強できる環境を作って頂きました。こういった面でも学校の学びのサポート体制がすごく整っているなど感じています。

恵まれた豊かな自然と人々の温かさが合わさった環境で家族と楽しく生活できていることに感謝しています。



マクラフリン・ジェyson

琴浦町の一番の魅力は、人です。2023年8月に琴浦町に引っ越してきた当初は、家族に会えなくてホームシックになってしまうのではないかと心配でした。大学に通っていた時は家を離れて暮らしていましたが、家族は遠く離れたところではなく、数時間しか離れていないところにいました。

しかし、町の人々や学校の先生や生徒は、とても温かく迎えてくれました。日本語があまり上手ではないにもかかわらず、多くの人が話しかけようとしてくれます。

先月、アメリカから友達が遊びに来て、琴浦に泊まりました。彼女は「日本語が話せないのに、みんなとても親切にしてくれた」と言っていました。

町の人たちが友達に親切にしてくれたことが嬉しかったです。この町に住んで本当に良かったです。琴浦町、本当にありがとう！



ペリー・エミリー
(東伯中 ALT)



大山滝



アメリカから来た友達との写真

あとがき

3月議会は予算議会。3日間の予算・決算審査特別委員会（各課ごとの予算質疑）は、侃侃諤諤（かんかんがくがく）。二元代表制としての議会の役割をいかに発揮。最終日の採決も賛成反対の討論に多数が登壇し、熱のこ

もった議会でした。

したがって、この「議会だより」の編集も大変。町民の皆様にその内容をうまく伝えられていると良いのですが…。皆様のご意見をお待ちしています。
(善)



議会広報常任委員会

委員長	谷田 順子
副委員長	川本 善孝
委員	山本 秀正
委員	田中 肇
委員	小椋 憲浩
委員	金光 敦

題 字 山田 美鈴氏